

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■ランプについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	

製品・お取り扱いなどのご相談は		修理・アフターサービスのお問い合わせは	
お客様相談室		サービスセンター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話	ナビダイヤル (全国共通番号)	電話
	0570-055123		0570-015123
受付時間：9:00~17:30		FAX	
		0570-025123	
		受付時間：9:00~17:30	

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などに変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2017年3月現在)

愛情点検	★長年ご使用の照明器具の点検を！	
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	

	安全に 関する ご注意		ご使用中止	故障や事故防止のため、電源スイッチを 切り、必ず販売店に点検、修理を依頼し てください。

コイズミ照明器具 保証書	
＜保証について＞	
1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。	
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。	
3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。	
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。	
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合	
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。	
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間	
お買上年月日	
お客様	お名前
	ご住所
	電話 ()
取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 ADE651115

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
	厳守		分解禁止
	禁止		禁止
	禁止		厳守

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
	接触禁止		禁止
	水ぬれ禁止		厳守
	禁止		厳守

	厳守		厳守

取説No. D05-095 KU/S・T-005

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
ADE651115	AC100V	0.09A	4.4W	LDA4-H-E17/E/S/W×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

・下図のような場所には取付けない
誤作動の原因になります。

白熱灯照明器具の近くには取付けないでください。

太陽光線や強い光が入る場合は、誤作動することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。

ストーブなどの高温熱源付近やエアコンなどの風のアたる場所には取付けないでください。

感知エリア内に障害物や風などでよく揺れるもの（植木、カーテンなど）のある場所には取付けないでください。

感知エリア内に小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。

・無線などによる電波障害で誤動作する場合があります。

3 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

5 自動点滅器(ディライトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

6 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

このような場所には取付けないでください。

傾斜天井

壁面

禁止

1 埋込穴寸法

強度の確保

2 電源線

3 本体

ソケット

取付金具

接続端子

人感センサ

4 ランプ

Vバネ

5 反射板枠

〈付属部品〉

エリアマスク・・・・・・・・・・1個

■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度と点灯時間を設定してください

●センサの動作について(動作設定スイッチ)

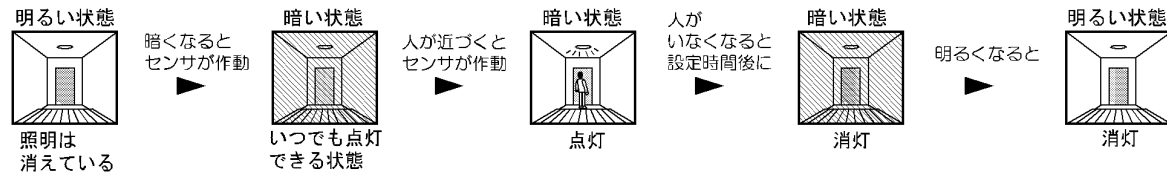
<センサ待機モード>

暗い状態で、人が近づくとセンサが感知して点灯します。

※電源投入後は約20秒点灯し、その後40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間点灯します。

電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定した待機モードになります。

・オン/オフモード(必要な時だけ点灯で省エネ)



※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

周囲の明るさや人体感知に関係なく連続点灯します。



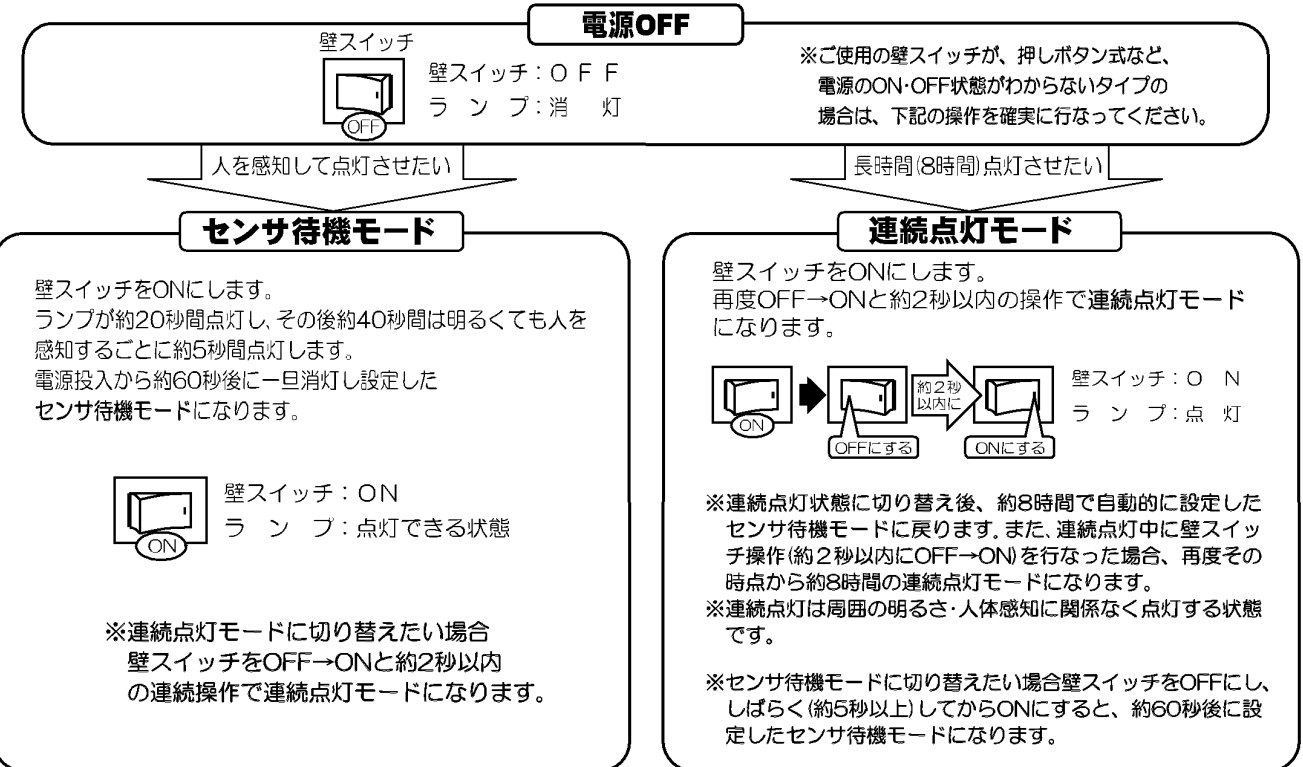
■モードの切り替えを壁スイッチで操作する(プルレス操作)

●この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。

壁スイッチを使用しないと誤動作のリセットおよびモードの切り替えができません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。



<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとプルレス動作が正常にはたらかない場合があります。

壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON-OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。

やけどの原因になります。しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 反射板枠を取外す

枠を垂直に引き下げて、本体から取外してください。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。

5 ■施工手順5を参考に反射板枠を取付ける

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

